

日本労働年鑑 第25集 1953年版
The Labour Year Book of Japan 1953

第一部 労働者状態

第六編 農家の状態と農民の生活

第一章 農家及び農業労働者

第二節 農業労働力

一九五二年二月一日現在の農業従事者数は一、七二四万人である。「労働力調査」によれば、一九五一年においては、農業従事者数は最高一、八四〇万人(六月)、最低一、二五九万人(二月)であったが(第一七四表参照)、本調査の数字は、この最高最低の平均よりやや多い。もともと、農業従事者の概念が不明確なため、これらの調査における労働力の数量的比較はかならずしも正確を期しがたいことは断るまでもない。

本調査と比較できる農業従事者数の統計は、一九四六年人口調査における一、八五九万人、四七年臨時農業センサスにおける一、七五四万人である(第一七五表参照)。戦後の農業従事者数の動きを見ると、終戦直後の一時期はかなり増加をしめしたが、その後年とともに減少し、最近のごとく、一、七二五万人になったものであろう。このことは、兼業農家数の消長(四六年二六四万戸、五〇年三〇九万戸、五一年三一三万戸)から見ても裏書きされるところである。

日本労働年鑑 第25集 1953年版

発行 1952年11月15日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年8月10日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1953年版(第25集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)